

民進・長島昭久氏離党届提出

民進の都連幹事長も務めた長島昭久元防衛副大臣が10日、離党届を提出した。都議選投開票まで3カ月を切った段階での決断。民進公認の都議選候補者の中には、引き続き長島氏を支持し、離党届提出の可能性を否定しない者もあり、長島氏の離党届提出が都議選に与える影響は避けられない情勢だ。

「長島党」の動き注目

都議選への影響必至

10日午前には始まった会見で、正式に離党届を出したことを明かした長島氏。支持基盤の衆院東京21区（立川市、日野市、昭島市）の地方議員は「ここで活動する民進地方議員は『民進党』というよりも、長島先生を尊敬する『長島党』の党員といってもいい。離党届を出しても、長島



民進党役員室

民進党に離党届を提出した長島昭久氏 10日午前、国会

先生への支持は揺るがない」などと強調。関係者によると、「引き続き長島氏を支持する」との意向を表明した民進公認の都議選候補者もいるという。

長島氏に続き、離党届を提出するかどうかについて、ある民進公認の都議選候補者は「推薦を受けている連合東京との関係や、低調とはいえ、民進の支持率を見極める必要がある」と慎重姿勢ながらも、支持者との調整がついた場合は「離党届を提出しないと断定することはできない」などと話した。

長島氏は自民党の石原伸晃経済再生担当相の公設秘書を経て平成15年に初当選し、当選5回。外交・安全保障分野に精通し、野田佳彦内閣で首相補佐官や防衛副大臣を務めた。

7日に都内で開かれた支持者らの会合で離党する考えを表明していた。